

收容月日	收容人員	荷物個數
十月十六日	三四四	四四六
十月十七日	三三九	
十月十八日	三二八	
十月十九日	二九九	
十月廿一日	(陸路) 六〇	
合計	一、〇七三	八七五

如斯既ニ多數ノ人員ヲ收容セル隔離舎ハ其秩序ヲ保持センガ爲メ入舎民心得トシテ左ノ條項ヲ各室ニ揭示セリ

- 一 室内ニ於テ喧嘩口論ヲナシ又賭博ニ類スル所爲アル可カラス
- 一 廊下ニ於テ下駄ヲ穿キ又ハ小兒ヲ駈ケ歩カシム可カラス
- 一 窓ヨリ大小便ヲナシ又ハ塵芥ヲ棄ツ可カラス
- 一 食事ノ終リタル後筭皮ハ一定ノ場所ニ集メ置クヘシ
- 一 室内ノ内外ヲ問ハス跳足ニテ歩行ス可カラス
- 一 入浴ハ豫テ指示セル順序ニ依リ男女隔日ニ入浴ヲナスヘシ
- 一 晝間ハ時々室外ニテ運動ヲ爲スヘシ
- 一 室内ハ時々掃除ヲナシ窓戸ヲ開キ新シキ空氣ヲ入ル可シ
- 一 室内ノ物品ハ秩序能ク整理スヘシ
- 一 便所ノ溜壺外ニ大小便ヲナサ、ル様注意スヘシ
- 一 健康診断ヲ行フ時ニ呼子笛ニテ合圖ヲナスニ依リ之レヲ開キタル時ハ直ニ自己ノ室内ニ集マリ醫師ノ來ルヲ待ツヘシ

一 各區牆塼ノ外ニハ少シモ出ツル可ラス  
 一 塵芥ハ指定ノ場所ニ取棄ツヘシ

物品ノ給與

入舎スル隔離民ニ對シ物品ノ受授ニ關スル事務ハ特ニ屬官一名警部一名巡查部長巡查二名ヲシテ最モ敏速ニ處理セシメタリ即チ消毒所ヨリ送附シ來ル物品ハ其個數ヲ點檢シ各所有者ニ交付シ又ハ給與若クハ貸與スヘキ物品ハ可及的速ニ之レヲ交付セシム而シテ其給與若クハ貸與セル品目ハ大約左ノ如シ

一 室毎ニ貸與スヘキモノ

藥罐 土瓶 火鉢 五德 火箸 小桶 紙屑籠 小箒木 炭取

一人毎ニ貸與スヘキモノ

茶碗大小各一個 箸一揃 盆但二人ニ一枚 草履

一 棟毎ニ配付スヘキモノ

バケツ一個 火入バケツ一個

下駄五足 傘一本

一 洗面場ニ配付スヘキモノ

風呂桶一個 水槽一個 小桶三個 金盥二十個 柄杓二本

給與スヘキ飲食物ハ縣費ヲ以テ之レヲ支辨シ大人ハ一食七錢小兒ハ五錢ノ豫算ヲ以テ當該衛生組合ヲシテ請負ハシメ毎朝其献立ヲ提出セシメテ當該吏員檢査ノ上門外ノ炊事場ニ於テ調理シ飯ト副食物トヲ合同シテ筭ノ皮ヲ以テ包裝シ各區ノ運搬容器ニテ門内交付場ニ運搬シ各室擔當ノ事務員ニ交付セシム而シテ事務員ハ人夫ヲシテ各室ニ就キ一人一個ツ、ヲ配付セシムルノ方法ナリシガ宿舍ノ整理緒ニ就クニ及ンテ飯ハ各室ノ人員ニ應シ之レヲ一容器ニ副食物ハ一人毎ニ別個ノ容器ニ收メテ交付スルコトニ改メ其食事時間ハ次ノ如ク定メタリ

第三章第六項 隔離收容

第三章第六項 隔離收容

二百七十八

朝 飯 午前七時ヨリ八時マテ  
晝 飯 同十一時ヨリ十二時マテ  
夕 飯 午後四時半ヨリ五時マテ  
警戒

隔離舎ノ警戒トシテ巡查ノ配置ハ最初第七圖(イ)ノ如ク二十一名ヲ七ヶ所ニ配置シ三番交代ヲ以テ勤務セシメ主トシテ第五區二棟八室ニ於ケル收容民ノ逃走等ニ備ヘシカ各室ノ交通自由ナルヨリ交互往來交通シ係員ノ制止戒諭モ容易ニ應セサリシト中途第五區乙棟六號室ヨリ「ベスト」患者中田寅吉ヲ出シ同棟第三號室及第五號室内ノ收容民各一名逃走セシ事故等ヲ生セシニ因リ益々巡查ヲ増員シ配置ノ個所ヲ増加スルノ必要ヲ認メ第七圖(ロ)(ハ)ノ如ク十二ヶ所トナシ晝間ト夜間トニ依リ其個所ヲ移轉シ以テ警戒ヲ嚴ニスルニ至レリ  
隔離セル收容民中ニハ或ハ罹病潜伏中ニ屬セルモノアルヘキヲ慮リ五名ノ醫師ヲシテ各其受持ヲ定メテ毎日午前九時及午後二時ノ二回ヲ以テ健康診断ヲ行ハシムルコト、シ其診断ニ際シテハ初メ事務員ハ收容者ヲ各室ニ集合シ受診ノ準備ヲナサシメ巡查一名立會ノ上診断セシム而シテ診断ノ結果普通病者ヲ發見セルトキハ處方箋ヲ交付シ日本藥劑師會神奈川縣支部代表者カ施藥ノ目的ヲ以テ所内ニ特設シタル藥局ニ就キ施藥ヲ受ケシムルヲ常トセリ

斯クシテ日々ノ健康診断ハ遺憾ナク施行セラレシカ十月二十四日ニ至リ第五區乙棟第六號室内本間文造部屋人足中田寅吉ハ左側鼠蹊腺ノ腫脹ニ伴フテ體温昇騰セルヲ發見セシヲ以テ一方同室者ノ交通ヲ禁スルト同時ニ乙棟ノ收容者全部ノ相互交通ヲモ嚴禁シ直チニ警察部ニ其狀況ヲ報告シ同日午後三時同部ヨリ醫師出張シ腺内容液ヲ採取シ歸廳セシガ同日午後六時ニ至リ疑似「ベスト」ナル旨電通シ來レリ茲ニ於テ患者ハ市立傳染病院タル萬治病院ニ送致シ同室者一同ハ消毒ノ上乙棟八號室ニ移轉セシメ翌二十五、二十六ノ兩日ヲ以テ乙棟全部ノ消毒ヲ施行シ同棟内ノ收容民百六十六名及寢具、衣類等ハ馬車ヲ以テ扇町市立消毒所ニ送り消毒結了ヲ俟テ再ヒ此隔離舎ニ收容セリ

上記ノ如ク隔離舎内ニ於テ本病患者ノ發生セル一事ハ收容民一般ノ恐怖心ヲ惹起シ遂ニ乙棟第五號室ヨリ一名同三號室ヨリ一名ノ逃走者ヲ出シ警察部及關係各警察署ノ嚴密ナル搜索ニ依リ同月二十八日ニ至リ發見ノ上復歸セシムルコトヲ得タリ

必需品ノ購求

收容民ノ必需品購求ニ付テハ最初事務所ニ於テ周旋ノ勞ヲ執リシト雖モ其申出日ニ七、八點ノ多數ニ上リ到底少數ナル事務員及小使ノ能ク處辨シ能ハサル處ナルヲ以テ遂ニ事務員監督ノ許ニ必需品ト認ムル一切ノ物品ハ衛生組合ヲシテ供給セシメ各區ヨリ選出セラレタル販賣人ヲシテ午前二回及午後二時ノ三回限リ各棟ノ軒下ニ於テ販賣セシムルノ方法ニ改メ以テ能ク彼等ノ需用ヲ滿タスコトヲ得タリ

面會

面會ハ緊要ナル事故ニ非ラサレハ之レヲ許可セサルノ方針ヲ採リ慰問ノ爲メニ來ル者ニハ單ニ刺ヲ通セシムルニ止メシメタリ金錢貸借商業取引等緊急ノ用務ノ爲メニ面會ヲ求ムル者ノ外物品ノ寄贈者或ハ婦人ノ慰問者ニシテ種々ノ口實ヲ設ケ面會ヲ強請シテ止マサル者頻々相踵キシヲ以テ止ムヲ得ス之レヲ許可スルトキハ雜談多事ニ涉リ面會場内ノ各所ニ團集シテ係員ノ制止モ容易ニ肯セス之レガ爲メ自然遮斷ノ實滅却スルノ虞アルト少數ノ係員カ其取次ニ忙殺セラレ爲メニ至急ヲ要スル面會者ニ對シテ迅速ニ其用務ヲ辨セシムルコト能ハサルニ依リ遂ニ場内ニ一ノ境界ヲ設ケ彼我相隔テ、對話セシムルノ法ニ改メ各區ヨリ一名ツ、ノ世話役ヲ會場ニ出張セシメ取締警官ノ指示ニ從ヒ要務傳達ノ役ニ當ラシメタリ

滿期解除

期間滿了シテ解除スルニ當リ收容民中其行先不確定ノ爲メ退舎スル能ハサル者アリシニ依リ之レガ救濟ノ爲メ特ニ市役所ヘ該舎五棟ヲ貸與シ以テ彼等ノ滞留ヲ許可セシガ十月二十九日以降次表ノ如ク漸次退舎シ遂ニ十一月十一日ニ及ンテ出張所ヲ閉鎖スルニ至レリ

第三章第六項 隔離收容

二百七十九



第三章第六項 隔離收容

番號	「ペスト」患者氏名	關係者ノ收容員數	收容者ノ各方面	收容月日
一五	木村アキ	六七	浦島町	九月三日
一六	肥田ムメ	一一	根岸町	同
一七	河合ハナ	一五	松影町一丁目	同
一八	岡田コイ	四	同	同
一九	齋藤源太	二八	壽町二丁目	同
二〇	内山定太郎	四七	松影町一丁目	同
二一	高橋ハル	四	吉濱町	同
二二	清水ウル	五	松影町一丁目	同
二三	上野仙太郎	五二	同	同
二四	吉田テツ	八六	吉濱町	同
二五	倉本金彦	二七	浦島町	同
二六	本多源次	五一	吉濱町	同
二七	大塚六之助	六九	吉濱町	同
二八	遠藤カカ	八	吉濱町	同
二九	中谷シモ	八四	浦島町	同
三〇	小山駒太郎	二	同	同
三一	池崎ハル	四五	吉濱町	同

計	三二	鈴木又吉	一四六	三吉町二丁目	同	二十二日
計	四二		一、二二六			

橋樹郡子安村隔離所

一	同加山ト金藏	九	橋樹郡子安村	十一月三日
二	加山四郎	四	同	同
計	三	一三		

久良岐郡屏風浦村隔離所

一	柳・ミネ	一一	久良岐郡屏風浦村	九月十五日
---	------	----	----------	-------

備考 表中「ペスト」患者曾根清一郎ハ横濱市ニ於テ發病セシニ非ラスシテ潜伏期中横濱市ヨリ静岡縣ニ赴キ同地ニ於テ發病セル旨同縣ヨリ通知ニ接シ其關係者トシテ七月十二日八十一名ヲ扇町市立隔離所ニ收容セルモノナリ

前記ノ隔離所ニ於テハ市醫若クハ村醫ヲシテ日々收容者一般ノ健康診斷ヲ施行セシメツ、アリシニ十月三日收容ノ「ペスト」患者高橋ハルエノ關係者高橋トク(十四年)翌四日ヨリ發病シ同八日ニ至リ體温四十度脈搏百四十至眼結膜充血シ舌ハ白苔ヲ被ムリ且ツ右頸腺豌豆大ニ腫脹スル等其症狀「ペスト」病ニ疑ハシキ旨報告ニ接シ警察部詰検査官ヲシテ該腫腺ノ内容液ヲ檢鏡セシメタルニ「ペスト」類似菌ヲ認メタリ依テ患者ハ直ニ萬治病院ニ送リ同室者ハ消毒ノ上他室ニ移シ其交通ヲ遮斷セシム而シテ收容民ノ食品及其他ノ給與品貸與品等ハ總テ市費若クハ村費ヲ以テ之レヲ支辨セシメ其他總テノ取扱ニ就テハ縣立隔離舍ト大差ナカリシヲ以テ之レヲ省畧ス

第三章第六項 隔離收容



第三章第六項 隔離收容

二百八十四

前章既ニ記スル如ク明治三十六年九月以降松影町、吉濱町、浦島町及橘樹郡子安村方面ニ於ケル病毒ハ頗ル濃稠ヲ極メ狀況大ニ憂慮スヘキモノアリシヲ以テ爰ニ從來ノ施設ヲ革新シ更ニ一大計畫ヲ立案シテ大遮斷ヲ施行スルノ可ナルヲ認メ明治三十六年十一月一日緊急縣令ヲ發シ續テ府縣制第六十八條第二項ニ依リ縣參事會ヲ召集シ同年度歲出臨時部ニ於テ衛生及病院費金四萬七千貳百六拾五圓七拾參錢四厘ノ追加豫算ヲ提出セシニ直ニ可決セシヲ以テ同日午後十一時ヨリ松影町方面及浦島町子安村方面ノ一地域ヲ區劃シテ亞鉛板ノ圍繞ヲ以テ交通遮斷ヲ行ヒ遮斷内ノ住民ハ之レヲ長濱消毒所ニ移シテ嚴重ナル消毒ヲ施行セル後新タニ南吉田町ニ建設セル收容所ニ收容スルニ至レルヲ以テ以下序ヲ追フテ其概況ヲ錄セントス

收容所建築

前記臨時歲出金ノ可決セラル、ヤ十一月二日横濱市南吉田町ノ空地ヲ借入レ同時ニ建築部ヲ設ケ參事官堀内秀太郎ヲ以テ部長トナシ技師一名技手三名屬一名ヲ以テ其工事ヲ擔任セシメ即日收容所ノ建築ニ着手セシム本工事ハ事務室外三十七棟ヲ極メテ迅速ニ建築スヘキ要アルヲ以テ其施工方法ハ每柱長三尺内外ノ杉押四寸五分角ヲ以テ打込ミテ普通ノ地形工事ニ代用シ外部ハ風雨ヲ防止スヘキ限度内ノ下見板ヲ打付ケ内部ハ羽目板紙張ニシテ屋根ハ杉板葺トスルガ如キ極メテ簡易ノモノナリシガ工事ハ十一月三日ニ着手シ同六日全部ノ竣工ヲ見ルニ至レリ而シテ同月十四日ニ至リ更ニ病室一棟ヲ増設セリ其構造ハ前記建物ニ準シ同日午前十一時着手同午後十時落成セリ而シテ建設セラレタル建物ノ棟數坪數及其費用等ヲ示セハ左ノ如シ

建築費用	各室名稱	棟數	各室ノ坪數
一五〇〇、〇〇〇	事務室	一	六〇、〇〇〇
三〇〇、〇〇〇	同附屬家室	一	一二、〇〇〇
二二五〇、〇〇〇	第一號收容室	一	九〇、〇〇〇

一五〇、〇〇〇	便所渡廊下共	—	六、〇〇〇
一八七五、〇〇〇	第二號收容室	—	七五、〇〇〇
一五〇、〇〇〇	便所渡廊下共	—	六、〇〇〇
二二五〇、〇〇〇	第三號收容室	—	九〇、〇〇〇
二〇〇、〇〇〇	便所渡廊下共	—	八、〇〇〇
一五〇〇、〇〇〇	第四號收容室	—	六〇、〇〇〇
一二五、〇〇〇	便所渡廊下共	—	五、〇〇〇
一六〇〇、〇〇〇	第五號收容室	—	六四、〇〇〇
二三七、五〇〇	便所渡廊下共	—	九、〇〇〇
一四五〇、〇〇〇	第六號收容室	—	五八、〇〇〇
一二五、〇〇〇	便所渡廊下共	—	五、〇〇〇
一四〇〇、〇〇〇	第七號收容室	—	五六、〇〇〇
一六二、五〇〇	便所渡廊下共	—	六、〇〇〇
一四五〇、〇〇〇	第八號收容室	—	五八、〇〇〇
一二五、〇〇〇	便所渡廊下共	—	五、〇〇〇
一二〇〇、〇〇〇	第九號收容室	—	四八、〇〇〇
二二二、五〇〇	便所渡廊下共	—	八、五〇〇
一四四〇、〇〇〇	第十號收容室	—	五六、〇〇〇
一二五、〇〇〇	便所渡廊下共	—	五、〇〇〇
一〇〇〇、〇〇〇	第十一號收容室	—	四〇、〇〇〇

第三章第六項 隔離收容

二百八十五

第三章第六項 隔離收容

建築費用	各室名稱	棟數	各室ノ坪數
一六二、五〇〇	便所渡廊下共	—	六、五〇
一四〇〇、〇〇〇	第十二號收容室	—	五六、〇〇
一二五、〇〇〇	便所渡廊下共	—	五、〇〇
一〇〇〇、〇〇〇	第十三號收容室	—	四〇、〇〇
一六二、五〇〇	便所渡廊下共	—	六、五〇
三〇〇、〇〇〇	人夫部屋	—	一二、〇〇
三五七、〇〇〇	炊事會場	—	一五、〇〇
七五、〇〇〇	面會所	—	三、〇〇
一五六二、五〇〇	浴室	一	六二、五〇
二五、〇〇〇	便所	—	一、〇〇
九八〇、〇〇〇	亞鉛板	—	一九六、〇〇
三五五、二五〇	板塀	—	一〇一、五〇
一九二、七五〇	土塀	—	一一三、〇〇
二〇〇、〇〇〇	病室	—	八〇〇
合計 二七、七〇三、〇〇〇		三四	

右ノ收容舍ハ十三棟百十四室ヨリ成リ疊ノ數實ニ千二百四十一枚ヲ算シ且ツ電燈電話水道等ヲ引設シテ諸般ノ設備完成セリ(第八圖參照)

遮斷民ノ收容

告 知 書  
 一 今般神奈川縣令第六十三號ヲ以テ交通遮斷シタル地域内ニ在ル者ハ長濱消毒所ニ於テ消毒ノ上南吉田町收容所ニ收容セララル、モノトス  
 一 來ル八日午前十時出發スルニ付キ其前日中ニ各自携帯スヘキ物品ノ荷造ヲナシ置キ其當日出發一時間前迄ニ荷物ヲ携帯シ遅刻ナク乗船地ニ集合シ掛官ノ指揮ヲ受クヘシ  
 但雨天ノ際ハ順延トス  
 一 前項ノ出發ハ警官ヨリ各戸ニ通知スヘシ  
 一 携帶品ハ左ノ種類ニ限ル

必要品

隨意品

- 一 衣類 一 寢具類 一 茶碗 一 盆 一 椀 一 箸 一 手拭
- 一 自活シ得ル資力アルモノハ厨具類
- 一 金錢其他必要ナル諸帳簿 證書類
- 一 坐布團 毛巾 齒磨道具 箒類
- 一 菓子煙草等ハ消毒所ニ至ル迄ノ間入用者ニ限り携帯スルモ差支ナシ
- 一 荷物包ニ附スル木札ハ交通遮斷事務所ニ於テ交付スヘシ
- 一 出發ノ時ハ大岡川筋吉濱町十番地先荷物揚卸場及神奈川浦島町并ニ子安村遮斷區前面ノ海岸ヨリ乗船スヘシ

第三章第六項 隔離收容

第三章第六項 隔離收容

二百八十八

一、出發ノ際ハ足袋又ハ靴下草履ヲ穿ツヲ要スルニ付キ之レヲ有セサルモノニシテ自辨シ能ハサルモノニハ交通遮斷事務所ニ於テ交付スヘシ

受消毒人ノ心得

- 一、消毒ヲ受クル人ハ必ス足袋又ハ靴下ヲ穿ツヘシ履物ハ草履ヲ交付シ置クニヨリ之レヲ穿ツヘシ
- 二、消毒ヲ受クル物品ノ内蒲團、枕、毛布、衣類ハ散亂セサル様一纏トナシ可成風呂敷又ハ毛布包トナシ持運ヒノ間解ケヌ様細引又ハ繩ニテ堅ク其上ヲ括リ置クヘシ
- 三、消毒方法ハ強キ熱ヲ與フルモノナレハ革類及漆器、象牙、鼈甲、水牛、護謨製ノ物品ハ蒲團包等ノ中ニ入ルヘカラス必ス廢物トナルヘシ又「マツチ」火藥類ヲ其包ノ中ニ入ルレハ衣類、蒲團ヲ損スヘシ此等ノ物品其他總テ熱ヲ受ケテ損シ易キモノ若クハ其物ヲ損シ又ハ汚ス恐レアルモノハ取纏メ別包トナシ消毒所ニ持チ行キ掛員ニ渡スヘシ之レニモ木札ヲ附スルコトヲ忘ル可カラス
- 四、食器ハ竹籠様ノモノニ入レ能ク括リテ持行キ掛員ニ渡スヘシ之レ亦木札ヲ付ケ置クヘシ
- 五、靴、支那靴ニ物ヲ納レタルモノハ共ニ之レヲ消毒スルカ故ニ持行ヌ様ニ致スヘシ
- 六、消毒所ニ於テ各人ニ入浴セシムヘシ其入浴ノ時間ハ掛員ヨリ夫々案内スヘケレハ左ノ條々前以テ能ク心得置クヘシ

- 一、風呂場ニ於テ入浴前指輪ト番號札トヲ渡スヘシ其指輪ハ浴後ノ着衣其他ヲ受取ルマテ決シテ離スヘカラス
- 一、銀貨、紙幣、切手類及高價ノ櫛篦、指輪類ハ袋(糠袋)ノ大ナルモノヲ前以テ拵ヘ置キ其裏ニ姓名ヲ記入スヘシ)ニ入レ能ク其品ヲ括リ時計、蓋口、書類等ノ貴重品ハ共ニ入レ入浴前風呂場ニ於テ掛員ニ渡スヘシ
- 一、又帳簿類ハ大切ニ風呂敷包トナシ前同様ニナスヘシ
- 一、帽子、靴下、ズボン、煙草入其他皮製品等熱ヲ受テ損シ易キ品ハ風呂場ニ備付ノ竹籠ニ入レ其籠ニハ掛員ヨリ渡サレタル番號札ヲ付スヘシ
- 一、入浴終レハ能ク身體ヲ拭キ出口ヨリ出ツレハ直ニ備付ノ衣類其他入浴前ニ預ケタル物品ヲ指輪ノ番號ニ照

- シ早く着替ヲナシ歸リノ用意ヲナスヘシ
- 七、氣分惡シキトキハ早く掛員ニ申シ出ツヘシ
- 八、掛員ノ指揮シタル區域ノ外ニ出ツヘカラス
- 九、何事ニモ不審ノ慮アラハ遠慮ナク掛員ニ聞合スヘシ
- 十、消毒所ニアリテハ靜肅ナランコトヲ望ム

注意

船ニ乗ル前ニ是非兩便ヲ濟マシ置クヘシ海上風ヲ引カヌ様ニ常ニ多クノ衣類ヲ着ルヘシ

豫定日割

吉濱町(自三番地)松影町(自三十一番地)遮斷内ノ住民ハ十一月七日午前七時同十時ノ二回ニ浦島町子安村遮斷民ハ十一月九日午前七時同十時及翌十日午前七時ノ三回ニ輸送ヲ結了スヘキ豫定ナリシニ其輸送ニ先テ會々松影町吉濱町方面遮斷民ノ多數ヨリ遮斷解除後ニ於ケル救助處置ニ付キ嘆願書ヲ提出シ其願意採用ナキ間ハ斷然移送ニ應セサルコトヲ主張シ日々喧噪ヲ極ムルニ至リ濱田檢疫委員長并ニ防疫事務官ハ百方彼等ヲ懇諭スル等不慮ノ支障ヲ生セルニ依リ遂ニ左ノ如ク移送日割ヲ變更スルノ止ムヲ得サルニ至レリ

浦島町及子安村

- 十一月七日 午前七時同十時ノ二回
- 十一月九日 午前六時三十分ノ一回
- 松影町(自三十一番地)吉濱町(自三番地)
- 十一月九日 午前十時一回
- 十一月十日 午前七時同十時ノ二回

如斯ニシテ收容民ハ五大力船ニ分乗セシメ小蒸汽船ヲシテ之レヲ曳カシメ無事消毒收容セラレタル戸數人員ハ次ノ如シ

第三章第六項 隔離收容

二百八十九





收容民中飲食物ヲ自辨シ且ツ寢具等ヲ携帶セル百七十五人ヲ除キ他ノ收容者ニ對シテハ收容所ハ食器、火鉢、炭入、手桶、箸、寢具其他日常缺クヘカラサル器具等ハ一般ニ貸與シ又飲食物、木炭等ハ總テ給與シ嬰兒若クハ疾病者ニ對シテハ牛乳麵包ヲ給スルガ如ク隨時相當ノ注意ト保護トヲ加フルコト前年神奈川砲臺ニ收容セシ時ト異ナルコトナカリシ

健康診断

收容所ニハ醫師ヲ配置シ日々全部ノ健康診断ヲ施行セシメタルニ十一月十二日ニ至リ第九號舍百二十七號室内吉濱町十番地理髮職加田彦七雇人野口藤吉(十五年)前夜ヨリ發熱シ其症狀「ペスト」ニ疑ハシキヲ以テ直ニ第十號舍百五十號室ヘ移轉セシメ同時ニ電話ヲ以テ警察部ニ通報シ又第十二號舍百六十二號室内嚴原セキ三女フク(九年)モ體温四十度以上ニ昇騰セルヲ以テ本月八日以降第十號舍百四十號室ヘ移轉セシメ適宜ノ處置ヲ施シ其經過ヲ觀察セシニ二十二日ニ至リ之レ亦體温ノ昇騰著シク症狀怪ムヘキ點アルヲ以テ直ニ警察部ニ通報シ同日午前八時三十分檢疫醫來診シ且ツ檢鏡材料ヲ採取シ歸廳後檢鏡ノ結果孰レモ「ペスト」疑似症ナル旨同日午後復答ニ接シ兩患者ハ即時萬治病院ニ送致シ第十號舍全部ニ對シテ嚴重ナル消毒ヲ施行シ第九號舍第百二十七號室第十二舍第百六十二號室ノ收容民ハ消毒ノ上第九號舍第二十七號室ヘ移轉セシメ向フ十日間他トノ交通ヲ遮斷セリ

前記ノ如ク收容期中健康診断ニ依リテ發見セラレタル二名ノペスト患者ノ外普通病者ハ合計百八十九名ニシテ内死亡者二名アリキ

滿期解除

期間滿了シテ收容民ヲ解除スルニ當リ解除後他ニ頼ルヘキ者ナキ者ニ對シテハ左記殘留者規定ニ基キ同所ニ滞留スルコトヲ許セリ

一 收容所ノ遮斷解除者ハ住家ノ遮斷未タ解除セサルモ親戚其他ニ寄寓スル等直ニ立退ヲ希望スル者ハ其隨意ニ

任スコト

一 浦島町、吉濱町、松影町ノ人民ニシテ住家ノ遮斷解除セサル爲メ收容所ニ止マランコトヲ希望スル者ハ其遮斷解除マテ滞留ヲ許スコト但シ何時ニテモ立退ヲ申出ツルコト

一 浦島町、吉濱町、松影町人民ニシテ立退又ハ殘留スル者ハ可成一家族共同ナルヘキモ相當ノ事情アルモノニハ家族ノ一部立退一部殘留スルヲ許スコト但シ幼者又ハ病者ノミ殘留スルヲ許サス

一 第二項立退遲延ノ場合ニハ自活者ノ外ハ食費其他ハ縣費支辨タルコト解除前ニ同シ

一 子安村ノ收容民ハ住家ノ遮斷解除セラレサルニ拘ハラス十七日ニハ立退カシムルヲ要スルニ付キ其自活シ得サル者ニハ生活費トシテ豫算金額ヲ住家遮斷ノ解除セララル、マテ即チ三日分給スルコト

一 一旦立退キタルモノハ再ヒ收容スルコトヲ得サルコト

一 遮斷ヲ解除セラレ尙殘留スルモノハ外部ト交通スルヲ以テ自然病毒ヲ所内ニ導クノ虞アルニ付キ十分ニ注意ヲ要スルコト

一 收容所ハ殘留者ヲ一棟又ハ數棟ニ集メ且ツ是等ノ棟ト他ノ棟トハ亞鉛板ニテ交通ヲ斷ツコト

一 殘留者ハ要務又ハ職業ノ爲メ外出スルヲ許スコト

一 殘留中職業ヲ營ミ自活シ得ル者ハ其家族ノ一部又ハ全部ノ給養ヲ中止スルコト

一 殘留者ヲ收容セル各棟間ノ交通ヲ許スコト

一 殘留者ニシテ種々ノ器具ヲ收容所ニ持込ムハ收容所ヲシテ病毒ニ汚染セシムルノ虞アルニ付必要止ムヘカラサルモノ、外ハ持込ミヲ許サ、ルコト

一 殘留者ニハ鑑札ヲ渡シ置キ之レヲ所持セザルモノハ出入ヲ拒ムコト

一 殘留者ノ出入スヘキ門ニハ巡查ヲシテ立番セシメ諸般ノ取締ニ從事セシムルコト

一 殘留者ノ出入スヘキ門ハ午前五時開放午後十一時閉鎖スルコト

一 殘留者ニ面會ヲ求ムル者アルトキハ門ノ處ニテ面會セシムルコト

第三章第六項 隔離收容

一 殘留者ハ所内ノ取締ニ付テハ一切收容所係員ノ指揮ニ從フヘキコト  
 前叙ノ規定ヲ收容民一般ニ告知シテ其退舍若クハ殘留ハ各自ノ撰ム處ニ一任シタルニ十一月十七日以降漸次退舍シ十一月二十九日ニ至リ全部退舍スルニ至レリ而シテ解除セシ人員月日等ハ左表ノ如シ

收容月日	收容人員	解除月日	解除人員	事
子安村 十一月七日	四四九	十一月十七日	四四八	收容中普通病ニテ一人死亡ス
浦島町 同九日	一〇	同十九日	八	收容中一名ノ「ペスト」患者發生シ送院
松影町 同九日	一一八	同十九日	一一八	際際附添トシテ一名
吉濱町 同九日	三四四	同十九日	二四一	收容中逃亡シテ行衛不明ノモノ三名アリ
松影町 十一月十日	四六七	同二十日	四六〇	收容中「ペスト」病一人發生シ送院セリ
吉濱町 同十八日	一七〇	同二十八日	一七〇	前記ノ患者ト同室内ニアリタルニヨリ
同十九日	一六〇	同二十九日	一六〇	所内ニ於テ交通ヲ遮斷セルモノ
合計	一、六一八		一、六一〇	

備考 表中收容人員ト解除人員トニ相違アルハ事故欄内ニ示ス如ク病死者及「ペスト」病ニテ萬治病院ニ送致セラレタルモノ其附添人及逃亡等アリシ爲メ八名ノ減員アリシニヨル

第三、四回流行

明治四十年第三回ノ流行時ヨリ防疫施設ハ全部市ニ於テ之レヲ爲サシメ縣ハ單ニ之レヲ監督シ若クハ補佐スルニ止メタリ隔離ノ如キ亦其一ニ屬シ全部市立隔離所ニ收容セシメ且ツ健康診斷ハ専ラ市醫之ヲ擔任シ隔離者中

疑ハシキ患者ヲ發見シタルトキハ警察部へ通報セシメ檢疫醫ヲ派遣シ立會檢診ノ上檢鏡材料ヲ採取シ細菌學的檢査ヲ行フテ之レヲ決定セリ然シテ此等隔離民ノ給與其他モ亦全部市ニ於テ負擔シ縣ハ唯々必要ノ場合ニ臨ミ巡査ヲ派シテ之レヲ取締ラシムルニ止マレリ而シテ隔離者ノ取扱其他ニ於テハ前記縣立隔離所ト大差ナク前者ハ臨時的ノ急造ナルニ反シ後者ハ常設ナルヲ異ナリトスルノミ然シテ收容ノ狀況等毎回殆ント同一ナルヲ以テ煩冗ヲ避ケ之レカ記載ヲ省畧ス

第七項 交通遮斷

「ペスト」病ノ傳播ハ鼠族ノ媒介ニ依テ起ルコトハ今茲ニ說クノ要ナシ蓋シ鼠族ハ同棲同巢ノ動物ナルヲ以テ一朝彼等ノ同病ニ感染スルモノアルヤ同族間ニ感染シテ之レカ流行ヲ來タシ爲メニ病毒ノ散蔓ヲシテ頗ル容易ナラシメ其結果延テ人體ニ及ホシ遂ニ慘劇ナル流行ヲ來スモノナルヲ以テ木病ノ發生ニ當リ防疫上ノ目的ヲ達セント欲セハ先ツ其發生地域内ニ交通遮斷ヲ施シ鼠族ノ放縱逃竄ヲ防遏スルト同時ニ病毒ニ汚染シタル人體及物件ニヨリテ病毒散逸ヲ豫防スルノ策ヲ講スルコトハ最緊要ナル條件ノ一ナルヘシ本縣ハ明治三十五年「ペスト」病發生以降其有病地域ヲ遮斷スルニ當リ毎ニ如上ノ條件ニ準據シ遮斷區域ノ境界ハ牆壁ヲ繞ラシ以テ鼠族ノ遁逸ヲ防止セリ而シテ圍塹材料トシテ最初海岸通五丁目二十番地ノ一部ヲ遮斷スル際ニ於テハ患者ノ發現甚々急進ナリシヲ以テ之レカ材料ノ適否ヲ撰擇スルノ邊ナク木板又ハ帆布ヲ用ヒタリト雖モ如斯材料ハ決シテ此目的ヲ透達スル能ハサルモノナルハ明瞭ナリ故ニ其當時百方考慮ノ末遂ニ亞鉛板ノ採用ヲ斷行シテ以テ今日ニ及ヘリ今ニシテ之ヲ思ヘハ實ニ嗤フヘキニ似タレトモ亦以テ當時ノ苦心ヲ察スルニ足ラン

元來圍塹材料トシテ亞鉛板ヲ採用セルノ理由ハ其面滑澤ニシテ堅牢ナレハ鼠族ノ攀上若ハ咬破ノ虞ナク價格ニ於テハ較々不廉ノ嫌ナキニアラサレトモ反復數回ノ使用ニ堪ユル等之ヲ他ノモノニ比スルニ大ニ優レルノ點アルヲ以テナリ然リト雖トモ世上往々亞鉛板ヲ用ヒタルヲ以テ住民ニ苦痛ヲ與フルモノトシ却テ不滿ヲ懷クモノアリト雖トモ之ヲ其實蹟ニ徴シ防疫上ノ効果著大ナルモノアリシヲ以テ區々ノ不滿ヲ顧慮スルノ邊ナク斷乎ト

第三章第七項 交通遮斷

シテ之ヲ續行シタリ

該亞鉛板圍塀ハ高サ六尺ニシテ其下端ヲ土中ニ埋メ全然遮斷區域ノ周圍ヲ繞ラシ且ツ其建築物トノ距離ヲ五尺以上トシテ鼠族ノ横飛ヲ防キ又内部ニ一切ノ木質ヲ用キス其接合部ハ之ヲ緊密ニシテ反轉ヲ防止シ又下水路ノ閉塞其他凡テ鼠族遁逃ノ防止上必要ナル手段ヲ取り以テ鼠族逃竄ノ空隙ナカラシム而シテ門口ハ區域ノ廣狹ニ依リ其數ヲ異ニセリト雖モ要スルニ適當ナル場所ニ一箇所若ハ數個所ヲ設ケ此部分ハ高サ二尺四寸ノ亞鉛圍障ニ止メ當該吏員ノ出入ニ便ニス

遮斷區域内ニ於テハ門口ノ内側ニ巡查詰所ヲ設ケ警官ヲシテ晝夜ノ交代ヲ以テ諸般ノ監視ニ當ラシメ而シテ住民ノ需用品購入其他面會人ノ取次等内外總テノ用務ニ付テハ衛生組合員ヲシテ專ラ之レニ當ラシメ以テ可及的遮斷民ノ不便ヲ除却センコトヲ企圖セリ

如斯施設ノ下ニ第一回流行時ニ於テ交通遮斷ノ施行ハ前後四度ニシテ其第一次ハ海岸通五丁目二十番地内ニ於テ四戸四十四人第二次ハ楠樹郡子安村ニ於テ十五戸五十人第三次ハ市内三吉町ニ於テ四十八戸百四十五人而シテ第四次ハ初發地タル海岸通五丁目二十番地全部ニ對スル縣施行ノ大遮斷ナリトス

前記ノ如ク四度ノ遮斷中第四次ノ大遮斷ヲ施行セルノ理由ヲ一言センニ初メ海岸通五丁目二十番地ニ於テ患者發現スルヤ直ニ患者及附近ノ遮斷ヲ行ヒ消毒其他ノ措置ヲ施セシニ後幾何モナクシテ該遮斷外ニ第二及第三ノ患者ヲ續發シ加フルニ「ペスト」鼠ハ同地域ノ各所ヨリ頻發スル等該地域全部ハ殆ント病毒ノ浸淫スル處トナレルヲ推斷シ得ヘキモノアルニ依リ茲ニ一大方針ノ下ニ斷乎タル處置ヲ施スノ必要ヲ認メ遂ニ三十五年十月八日縣令第六十五號ヲ發シテ二十番地全部即チ百七十六戸千二百五十六人ノ遮斷ヲ施行セリ

第二回流行時ニ於テ交通遮斷ヲ施行シタルハ實ニ三十六年五月十五日市内西戸部町字横枕千三百二十八番地紙漣菜松村善一ノ罹病ニ際シ患者及其附近四十八戸百五十八人ノ遮斷ヲ行ヒタルヲ初メトシ爾來戸部町、三吉町、元濱町、扇町、根岸町、本町通、南太田町、中村町、北方町、神奈川浦島町、松影町、吉濱町、壽町、不老町及久良岐郡屏風ヶ浦村、楠樹郡子安村等ノ各方面ニ涉リ前後四十度ノ多キニ達セリ而シテ其内縣ニ於テ施行セル

モノハ三回豫防法第八條ニヨリ施行セルモノ三十七度ナリ

遮斷施行ノ方法ハ第一回ニ於ケルト異ル處ナシト雖モ其區域ノ廣狹ヲ定ムルニ就テハ發生地ニ於ケル土地建物等ノ狀況ニヨリ固ヨリ一定セサルモ要スルニ患者ヲ中心トシ其棟ヲ同フセル家屋ハ勿論假令棟ヲ異ニスルモ家屋密接シテ容易ニ鼠族ノ交通シ得ヘキモノハ之ヲ網羅シ道路若ハ路次ノ有ル所ヲ境界トナシタリ如斯ヲ以テ人家稠密ノ個所殊ニ長屋等ノ如キ軒檐相接スル場所ニ於テハ比較的其區域廣ク戸數亦多キヲ免レス

今第二回ニ於ケル遮斷區域ノ一斑ヲ示セハ別表ノ如シ而シテ山手町一般病院入院後本病ト決定シタル患者發見ノ際ハ亞鉛板ノ圍塀ヲ施サス單ニ病室ノミヲ遮斷シタルニ止マレリ

松影町及吉濱町ニ於ケル縣施行ノ大遮斷ハ該區域内ニテ頻々患者發生アリタルニ際シ其都度幾回トナク小區劃ノ遮斷ヲ施シタル後ニ於テ之等ヲ網羅シ四方ノ道路ヲ境界トシテ一地域全部ヲ遮斷シタルモノナリ又吉濱町十番地ヨリ十五番地ニ至ル大遮斷ハ十五番地内ニ患者ヲ發生シタルト又松影町ヨリ吉濱町ニ跨カル大遮斷地ト相對シテ唯一條ノ道路ヲ隔ツルノミナルヲ以テ是亦遂ニ大遮斷ヲ行フニ至リタリ

第二回ニ於ケル交通遮斷ノ施行ハ大要別表ノ如シト雖モ其遮斷施行ニ際シ殊ニ當局者ノ困難ト住民ノ慘狀ヲ極メシハ松影町、吉濱町方面ト及神奈川浦島町、楠樹郡子安村方面トス

此等兩方面ニ於テハ一週日内外ノ間歇ヲ以テ點々新患者ノ發生アリシヲ以テ交通遮斷ト消毒トハ互ニ交換相踵テ殆ント間斷ナク爲メニ住民ノ業ヲ失フ者不滿ヲ懷クモノ等ヲ續出シ加フルニ遮斷ノ慘狀ヲ見撃セル附近住民モ亦戰々兢々トシテ危懼ノ念ヲ懷キ續々トシテ他ノ方面ニ轉住セントスルモノアルガ如キ日々紛擾ヲ極メ從テ當局者ノ施設ハ一層ノ困難ヲ來タセシガ遂ニ十一月縣令第六十三號ヲ以テ大遮斷ヲ斷行セルニヨリ全ク病毒ヲ一掃シ得ルニ至レリ

第三、四、回流行ニ於テモ其方法材料等ハ前回ト異ルナシト雖モ第四回流行時ニハ蚤ニヨリテ「ペスト」病毒ヲ媒介スルノ實驗報告ニ鑑ミ遮斷内ニ出入スル官吏其他ニ向ツテ消毒法ヲ行フノ外防蚤ニ注意セシメ長靴又ハ長足袋ヲ穿タシメ其上ヲ真綿ニテ括約セシムル等ノ方法ヲ推獎シ且ツ各自ニ除蟲粉ヲ携帯セシメタリ



第三章第八項 清潔法及消毒法

二百九十八

交通遮斷内ハ人畜共ニ去ルヲ以テ貧民部落等ノ不潔ニシテ平素ヨリ蚤多キ家屋ニ於テハ一步足ヲ踏入ルレハ俄ヘタル蚤ハ直チニ飛來シ瞬間ニ數十足ノ多キヲ捕ヘタルコトアリ其種類ハ今數量ヲ以テ明示シ難シト雖モ概シテ人蚤多ク鼠蚤モ亦目撃シタルコトアリ然レトモ茲ニハ單ニ遮斷内ニテハ多數ノ蚤ノ飛來スルアリテ頗ル危險ナレハ之レヲ防禦スルノ必要ナルコトヲ記スルニ止メ後日機ヲ得テ更ニ之レヲ實驗セントス而シテ此等遮斷圍塀ノ延長及戸數人口及之レ等ノ消毒ニ要スル藥品等ノ詳細ハ別表ニ掲出セリ

第八項 清潔法及消毒法

本縣ニ於テ「ペスト」病ニ對スル消毒及清潔方法ヲ施行シタリシハ明治二十九年清國人李亨ノ「ペスト」死體ヲ火葬セシメントセシ際清國ノ風習上之レヲ行ヒ難キヲ以テ已ムヲ得ス之レニ藥物消毒ヲ施シ木棺ニ納メ尙之レニ生石灰ヲ填充シ墳穴ハ約一丈三尺掘鑿シ棺ノ底部及周圍ハ厚サ五寸餘ニ生石灰ヲ填充シタル後石灰乳ノ混和セル土砂ヲ以テ其上ヲ被ヒタリ而シテ一方患者ニ關係シタル數十名ハ之レヲ横濱市立隔離所ニ收容シ其他尙モ病毒汚染ノ疑アル物件ハ悉ク消毒ヲ施セリ爾來本縣ニ於テ患者ヲ發見シタルモノアルモ孰レモ港内ノ船舶内ニ於テ發病シタルモノナルニ依リ長濱消毒所ニ於テ處置セリ

然ルニ明治三十二年阪神地方ニ於テ「ペスト」病流行時ニ當リ本縣ニテハ該地方ヲ發シ若ハ經由セル船舶及其他ノ物件ニ就キ檢疫法ヲ勵行シ其疑ハシキモノハ直ニ消毒ヲ施行スル等大ニ警戒ヲ加ヘタルモノアリシガ三十二年五月三十日ニ至リ特ニ内務省訓令第五九二號ニ依リ横濱全市ニ清潔法ヲ施行シ特ニ貧民部落及木賃宿等ニ對シ家屋ノ内外ニハ周到ナル除鼠の清潔法ヲ實行シ且ツ必要ト認メタル場所ニ對シテハ消毒の清潔法ヲモ施行スル等專ラ豫防上怠ル所ナカリシガ越ヘテ同三十五年十月ニ至リ横濱市ニ於テ一名ノ患者ヲ出シ翌三十六年十一月ニ至ル迄五十餘名ヲ算スルニ至レリ  
患者發生後ニ於ケル消毒及清潔法ハ其時期ト場所トノ關係ニ依リ寬嚴ノ程緩急ノ度自カラ多少ノ差異アルヲ免カレザリキ

蓋シ第一回流行時ニ於テハ「ペスト」患者及「ペスト」鼠ノ發見ハ少數ニシテ一定地域ニ局限セント雖モ第二回流行時ニ於テハ其發現多數ナルト加フルニ發現ノ場所ハ市内各方面ニ涉レルトヲ以テ從テ兩期間ニ於ケル消毒及清潔法ニ於テモ勢ヒ多少ノ差異ヲ免カレザリシナリ

今「ペスト」患者發生後ニ於ケル消毒及清潔方法ヲ記述センニ(一)、交通遮斷内即チ所謂遮斷區域ノ消毒(二)、同遮斷外即チ豫防區域及注意區域ノ消毒トシテ記スルヲ以テ便宜ナリトス

- (一) 交通遮斷内ノ消毒
- (一) 家屋及之ニ屬スル建物ノ消毒
- (二) 疊建具等ノ消毒
- (三) 衣服器具及其他ノ物品ノ消毒
- (四) 土地及下水ノ消毒
- (五) 燒却

(一) 家屋及之ニ屬スル建物ノ消毒

抑モ「ペスト」病ハ其初メ鼠族間ニ流行シ然ル後チ彼等ノ直接若ハ間接ノ媒介ニ依リ人體ニ侵襲スルヲ常トセリ之レヲ以テ建物ノ消毒ニ際シテハ他ノ傳染病ニ對スルガ如ク單リ患者ニ起因スル汚穢物ノ消毒ノミヲ以テ満足スルコト能ハス必ラス其消毒ニ先チ鼠族ノ遁竄ヲ防遏スルノ手段ヲ講セサル可ラス此目的ノ爲メニ常ニ遮斷地ノ周邊ニハ亞鉛板ヲ繞ラシ遮斷ノ日ヨリ一定期間殺鼠劑及捕鼠器ヲ配置シテ豫メ鼠族ノ驅除ヲ謀リ然ル後消毒ニ着手セリ而シテ家屋倉庫物置等ノ消毒ニ當テハ可及的移動シ得ヘキ器具家具ハ之レヲ屋外ニ搬出シ天井板床板羽目板及流シ等ハ全部之レヲ除去シ屋根瓦ハ必要ト認ムルトキ之ヲ剝離シ殊ニ椽側臺所押入等ノ裏面鴨居長押ノ上面等ノ如キ尙クモ鼠族ノ通路ニ當リタル處ハ最モ嚴重ニ意ヲ加ヘ而シテ消毒ニ際シ屋内ニ於テ電燈電話線ノ布設若ハ金屬製ノ裝飾等アル場所ハ消毒唧筒ヲ以テ石炭酸水ヲ灌注シ然ラサル場合ニ於テハ昇水水ヲ以

第三章第八項 清潔法及消毒法

二百九十九



第三章第八項 清潔法及消毒法

テ洗滌シ後チ清水ヲ以テ拭淨スルヲ例トセリ而シテ昇汞水ノ使用ニ對シテハ萬一ノ過誤危險ヲ慮リ特別專務者ヲシテ從事セシメタリ

(二) 疊建具等ノ消毒

疊建具ノ消毒ニ對シテハ石炭酸水ヲ撒布シタル後清淨ナル布片ヲ以テ擦拭セリト雖モ唐紙或ハ絹綿等ヲ用ヒタル襖ノ如キモノニシテ藥液撒布ノ爲メ甚シク變色汚損ノ虞アルモノニ對シテハ長時間直射日光ニ曝露シテ消毒スルノ方法ヲ採用セリ

(三) 衣類器具等ノ消毒

衣類及器具ニ就テハ個々其品目ヲ列擧スルハ其煩ニ堪ヘサルガ故ニ之レヲ總括シテ左ニ記述セン  
衣類寢具其他ノ布片ニシテ濕熱ニ堪ユルモノハ凡テ蒸氣消毒ヲ行ヒ又家具假ヘハ簞笥戸棚書籍箱机等ノ如キ木材ヨリ成ルモノハ室外一定ノ塲所ニ置列シ消毒唧筒又ハ撒水器ヲ以テ石炭酸水ヲ撒布シタル後清淨ナル布片ヲ以テ拭淨シ紙製又ハ革製等ノ物品或ハ色澤ヲ損スル虞アルモノ若ハ高價物品等ニシテ蒸氣及藥液消毒ヲ應用シ能ハサルモノハ「フオルマリン」消毒若ハ直射日光ニ曝露セシム

(四) 土地及下水ノ消毒

土地ノ消毒ニ就テハ建物ノ床下ナルト否ラサルトニ依リ其方法ヲ異ニセリ即チ家屋物置等ノ床下ニ在リテハ每回其土地ヲ掘起シ鼠穴ノ有無ヲ檢シタル後チ石灰乳ヲ加ヘテ消毒シ而シテ其掘起ノ程度ハ土質ノ如何ニ依リ一尺乃至二尺ニ及ヘリ然レトモ若シ床下及土間ニシテ堅固ナル「コンクリート」又ハ「セメント」漆喰敲キ等ヲ施シタルモノハ之レヲ掘起スルノ必要ヲ認メサルガ故ニ消毒唧筒ヲ以テ石炭酸水又ハ昇汞水ヲ灌注ナルニ止ム而シテ床下以外一般ノ土地ニ對シテハ其乾濕ノ度及其他ノ狀況ニ從ヒ生石灰末石灰乳石炭酸水又ハ昇汞水等ヲ便宜ニ應用スルモノトス下水ハ消毒着手前其口ヲ嚴重ニ金網ニテ閉鎖シ鼠族交通ノ途ヲ防キ鼠族ノ搜索ヲ爲シタル後チ石灰乳又ハ生石灰末ヲ投シ能ク攪拌流去セシム又木樋ハ樋ノ周邊ヲ凡ソ一尺以内掘起シ鼠穴ノ有無ヲ檢シタル後チ前記ノ藥品ヲ以テ消毒セリ

(五) 燒却

以上ハ何レモ藥物的消毒法ヲ施行シ得ヘキモノナリシト雖モ消毒スヘキ物件中殆ント無價物ニシテ消毒後再行ノ見込ナキモノ又ハ病毒濃厚ニシテ到底充分ナル消毒ヲ行ヒ能ハサルノ虞アル家屋ノ全部若ハ其ノ一部(即チ藁葺茅葺屋根)等ノ如キハ遮斷内消毒施行ニ依リ生セシ處ノ塵芥ト共ニ一定ノ塲所ニ於テ燒却セリ

第一回ノ流行時ニ於ケル遮斷内ノ消毒

如上ノ消毒法ニ準據シテ第一回流行時ニ施行セル遮斷内ノ消毒ハ前後四回ナリト雖モ内第四次ニ施行セル方法ハ遮斷地域内建物ノ大部分ヲ燒却セリ(此顛末ハ別項ニ詳ナリ)

既ニ交通遮斷及其他ノ部ニ於テ記セル如ク海岸通五丁目二十番地ハ十月六日第一回ノ遮斷後「ペスト」患者頻發セルヲ以テ遂ニ同地域全部ノ遮斷ヲ行ヒ且ツ其住民千二百有餘名ハ神奈川舊砲臺内ニ新設セル隔離所ニ收容セル後燒却ヲ實行セリ而シテ第一回流行時ニ施行セル消毒法ノ成績別表ノ如シ

第二回流行時ニ於ケル遮斷内ノ消毒

第二回ニ於ケル交通遮斷内ノ消毒ハ明治三十六年五月以降同年十一月ニ至ル迄前後四十回ノ多キニ及ヒ其内傳染病豫防法第十九條ニ依リ縣ノ施設トシテ松影町吉濱町方面ニ於テ二回神奈川町宇浦島及橘樹郡子安村方面ニ於テ一回ノ交通遮斷ヲ行ヒ其地域全部ノ住民ヲ南吉田町縣立隔離舍ニ收容セル後消毒ヲ施行シタルモノニシテ本期ニ於ケル遮斷内消毒法ノ成績ハ別表ノ如シ

(二) 交通遮斷外ノ消毒及清潔法

交通遮斷外ノ消毒の清潔ハ「ペスト」鼠ヲ發見シ若ハ殊ニ危險ノ虞アル區域ニ施行セルモノト然ラサルモ豫防上必要ト認メ市内全部ニ施行セルモノトニ依リ自カラ其執行ノ程度ヲ異ニセリ之レヲ以テ前者ニ對スル消毒の清潔法ハ之ヲ特別消毒の清潔法ト名ツケ後者ニ對スルモノヲ一般消毒の清潔法ト稱セシヲ以テ茲ニハ各別ニ記述セントス

今特別及一般消毒の清潔法ノ狀況ヲ記述スルニ先ダチ其施行ニ從事セル消毒隊ノ概要ヲ一言セン茲ニ謂フ所ノ第三章第八項 清潔法及消毒法

第三章第八項 清潔法及消毒法

三百二

消毒隊ナルモノハ横濱市ノ「ペスト」病豫防ノ爲メ本病發生後特ニ臨時ニ組織セルモノニシテ本隊ノ行動ハ一般消毒の清潔法ナルト將又特別消毒の清潔法ナルトヲ論セス總テ清潔法ノ施行ニ從事スル一團ノ名稱ニシテ其ノ組織ハ左ノ人員及分隊ヨリ成立ス

即チ市吏員一名大工二名人夫四名ヨリ成ルモノヲ一伍トシテ十伍ヲ編成シ此十伍ヲ五分シ以テ五分隊ト爲シ每分隊ニ藥劑係ヲ置キ市吏員一名人夫四名ヲ以テ之ヲ擔任セシメ而シテ豫防委員一名ヲ分隊長トナシ之ニ傳令使(市吏員)一名ヲ屬セシメ諸般ノ指揮ヲ掌理セシム且ツ每伍ニ巡查一名又每隊ニ巡查部長一名ヲ附シ監視警戒ノ任ニ充テ尙ホ全隊ノ監督トシテ警部三名ヲ以テ之ニ當ラシメタリ

第一 特別消毒の清潔法

前述ノ如ク特別消毒の清潔法ハ「ペスト」鼠發見ノ場所及遮斷區域内ニ接近シ若ハ特ニ當局者ニ於テ危險ト認メタル部分ニ限リ施行セルモノニシテ其方法ハ第六章合達通牒ノ部ニ掲記セル特別消毒の清潔法施行手續ニ準據ス

茲ニ一言ノ注意スヘキハ前記特別消毒の清潔法ノ手續ハ明治三十六年六月示令第六十三號ヲ以テ規定セシト雖モ實際ニ於テハ尙其ノ以前ニ於テ同一方針ノ下ニ施行シ來レリ

明治三十五年十月「ペスト」病發生後特別消毒の清潔法ヲ施行セル部分ハ海岸通四丁目十九番地ノ一地域トス蓋シ斯ノ清潔方法ヲ施行セシ所以ノモノハ該地域ハ同五丁目二十番地ト土地相接近セルヲ以テ假令五丁目二十番地ヲ消毒スルノ際亞鉛板ノ圍塀ヲ以テ嚴密ニ鼠族ノ交通ヲ防止スト雖モ地形ノ關係上遮斷前若ハ遮斷時ト雖モ鼠族ノ交通萬無キヲ保シ難キヲ以テ遂ニ四丁目十九番地全部ニ對シ特別消毒の清潔法ヲ施行スルニ決シ同年十一月十一日消毒ニ着手シ同月十五日ニ及ンテ家屋建物九十一ヲ結了スルニ至レリ明治三十六年ニ於テ「ペスト」鼠及同患者ノ發現市内各方面ニ涉リ頗ル多數ナリシヲ以テ從テ特別消毒の清潔法ヲ施行セル家屋建物ノ數ハ左表ノ如ク著シク増加セルヲ見ルヘシ

特別消毒の清潔法施行成績表

區別 分隊別	施行日數棟	數	戶數	使役シタル延		消毒シタル		斃鼠捕鼠	
				大工	人夫	石炭	灰		
第一分隊	二八	五四六	一、四八〇	五五〇	一、六五八	二、一六九	二、六三五	二二八	二三八
第二分隊	二八	五六二	一、五四九	五六一	一、五九四	一、二五三	一、七〇二	一八六	三八一
第三分隊	二八	五六四	一、二三五	五四六	一、七五六	一、三九〇	三、三三五	二四三	二二七
第四分隊	二八	七六六	一、五一一	五五六	一、六七七	一、八〇七	三、〇七五	二八九	二八〇
第五分隊	二八	四〇三	八四四	五六二	一、六八七	二、六八七	二、八三〇	一三三	一七一
合計	一四〇	二、八四二	六、六一九	二、七七五	八、三七二	九、三〇六	一三、五七七	一、〇七九	二、九七

第二 一般消毒の清潔法

一般消毒の清潔法ハ「ペスト」病豫防ノ必要上ヨリ横濱市全部ニ對シテ施行セルモノニシテ明治三十五年第一回流行ハ幸ニ同年十二月ニ及ンテ一時終熄セリト雖モ「ペスト」鼠ハ市内各方面ニ發見シ加フルニ明治三十五年十二月東京市本所區押上町東京瓦斯紡績會社内ニ本病患者ヲ發生シ漸次病毒蔓延ノ兆ヲ呈シ或ハ本縣ニ侵入スヘキヤモ保シ難キヲ以テ明治三十六年一月十日縣令第一號ヲ發シテ横濱全市ニ對シ清潔法ノ施行ヲ命シ其方法ハ大畧左ノ方針ニ據ラシメタリ

一、清潔方法ノ施行ハ専ラ消毒のナルヲ要スルコト

二、家屋倉庫其他ノ建物ハ床板、天井裏、羽目板等ハ必要ト認ムル部分ヲ取外サシメ専ラ斃鼠ノ搜索ヲ爲サシムルト同時ニ生鼠ノ捕獲ヲ爲サシムルコト

三、清潔方法ノ施行ニ依リ毎戸ヨリ取出シタル塵芥其他ノ不潔物ハ必ス一定ノ場所ニ運搬シテ燒却スルコト

四、清潔方法ノ施行ニ際シ發見シタル斃鼠及捕鼠ハ割増買收スルコト

第三章第八項 清潔法及消毒法

三百三

第三章第八項 清潔法及消毒法

町警察署山手本町警察署等ノ順ニ依リ漸次其實行ヲ期セシニ同年五月十四日ニ至リ西戸部町方面ニ於テ第二回ノ發初患者ヲ發現シ爾來患者ノ發生頻々相踵グニ及ヒ六月四日緊急縣令第四十四號ヲ發シテ更ニ市内全部ニ對シテ消毒の清潔法ヲ施行ヲ命シ同時ニ示令第七十五號ヲ以テ其施行手續ヲモ規定シ八月八日ヲ以テ消毒隊ヲシテ專ラ之ニ當ラシメ同月二十三日ニ至リ全部ノ消毒ヲ結了セリ其成績左ノ如シ

區別	分隊別	施行日數	棟數	戶數	使役シタル延			消毒費シタル		斃鼠	捕鼠
					人	夫	大工	石炭	酸石		
	第一分隊	三九	三、九七八	八、二六六	五六一	一、二六〇	五二二	四八三	三〇〇	七四八	
	第二分隊	三六	三、七七四	六、九五六	八二六	一、三二八	一九〇	一六五	二九五	七〇〇	
	第三分隊	三五	四、六八三	五、八四八	六二九	一、二〇九	一二五	四五六	二〇〇	四四四	
	第四分隊	三七	四、五四六	七、三七四	六九七	一、四三二	二二〇	九〇	八〇四	一、〇九三	
	第五分隊	三八	四、五三五	六、三三九	七四二	一、五二五	一六六	一一一	三一〇	四三一	
合計		一八五	二一、五一六	三四、七八三	三、四五五	六、七四四	一、二一四	一、三〇五	一、九〇九	三、四一六	

上記ノ如キ特別及一般消毒の清潔法ノ成績ヲ各警察管區別ニ分別スルコト別表ノ如シ  
 三十六年五月以來四十餘名ヲ黃泉ニ導キ隱顯出沒半歲ヲ超ヘ消毒又消毒官民ヲシテ之カ防疫ニ困憊セシメシ猛毒モ官民ノ一致協力及縣市當局ノ熱誠ナル攻撃ニ堪ヘス漸ク其鋒銳ヲ收メ同十二月以後ハ患者ノ發生止熄セシモ其餘燼ハ翌三十七年ニ入ルモ尙去ラスシテ時々「ペスト」鼠ヲ發生シ未タ意ヲ安ンスヘキニアラス既ニ昨年來頻々消毒法又ハ清潔法ヲ執行シ市民ノ迷惑察スルニ餘リアリト雖モ病毒ノ再襲ハ其期測ルヘカラサルモアリテ一日モ忽ニスヘキニアラスルヲ以テ更ニ市内全般ニ清潔法ヲ執行シ必要ナル部分ニハ消毒法ヲモ執行シテ一舉病毒ヲ根絶セシメントシ三月八日之ヲ防疫顧問會議ニ諮リシニ市當局者ハ現今特別注意業體者ノ除鼠の

清潔法執行中ニ屬シ未タ幾何ナラサルニ市民ニ更ニ清潔法ヲ迫ルハ情ニ於テ忍ヒス且ツ財政上ノ關係アリ此際必要ナル場所ニ限リテ除鼠の清潔法ヲ行フニ止メントノ意向ヲ容レ一般ノ清潔法ハ七月、十二月ニノミ施行スルコト、ナシタリ三十八年ヨリ三十九年後半ニ至ルマテ約一個年半年間ハ「ペスト」病毒全ク其跡ヲ絶チ無事平穩ニシテ定期ノ春秋兩期清潔法ヲ執行スルニ止マレリ而シテ此等清潔法ヲ執行スルニ際シテハ當該吏員監視ノ下ニ個人又ハ衛生組合ヲシテ其衝ニ當ラシムルノ主義ヲ實行セシヲ以テ之ニ備使スル大工人夫ノ如キハ組合ノ經費ヲシテ支辨セシムル事トセリ蓋シ除鼠の清潔法ハ春秋二期ニ執行スル一般清潔法執行ノ期ヲ利用シ之ヲ行ヒタリ但シ其着手前ニハ毎回捕鼠器或ハ殺鼠劑ヲ配置シテ豫メ除鼠ヲ勵行セリ

「ペスト」鼠發見ノ際臨時ニ執行セル消毒の除鼠清潔法ヲ除キ一般除鼠の清潔法執行ニ當リテハ衛生組合ノ廣狹疎密ニヨリ大工二名(或ハ一名)人夫四名(或ハ二名)ヨリ成ルモノヲ一組トシタル清潔組ヲ編成セシメ毎組ニ吏員及ヒ巡查各一名ヲ附シテ監視セシメ一組ノ擔當スル一日ノ課程ヲ百戸内外トシ又各署ヨリ一名ノ巡查部長ヲ特派シテ所轄内ニ於ケル全部ノ各組ヲ監督シ二箇月以内ノ期間ヲ以テ市内全部ヲ各署一齊ニ終了スルコト、シ毎年之ヲ執行シ來レリ

以上記述セシ概況ハ專ラ横濱市ニ對スルモノナルモ當市ト唇齒輔車ノ關係ヲ有シ交通ノ頻繁ニシテ動モスレハ病毒ノ侵襲シ到ラントスル市町村ニ對シテ警備ヲ加フルノ必要アルヲ以テ横濱市執行ノ振合ニ準シ除鼠の清潔法等ノ執行ニ努メシメタリ其市町村ノ重ナルモノハ橋樹郡子安村保土ヶ谷町或ハ横須賀市等ニシテ此等ニ關スル成績ハ別表ニ詳記スルヲ以テ之ヲ畧シ以下明治四十年及四十二年ニ於テ「ペスト」鼠發生後踵イテ患者發生シタル際ニ施行シタル消毒法及消毒の清潔法ノ梗概ニ遷ラントス

明治四十年ハ一月ニ「ペスト」鼠一頭二月ハ二頭三月ニハ之レナクシテ四月ニ至リ一頭ヲ發見シ五月ニ及ヒ四頭ヲ出シタルニ俄然同月西戸部町字天神山ニ患者ヲ發生シタルヲ始メトシテ八月中旬ニ至ル迄「ペスト」鼠ト患者ハ各町ニ陸續接踵シテ散發シ遂ニ「ペスト」鼠四十八頭ヲ算シ患者ハ十九名ニ達シ之ガ爲メ交通遮斷、消毒の若ハ除鼠の清潔法ヲ執行セシ部落ハ二十箇所ノ多數ニ上リ且ツ病毒ハ單ニ市部ニ止ラスシテ郡部ニ波及シ

第三章第八項 清潔法及消毒法



第三章第八項 清潔法及消毒法

即チ橋樹郡保土ヶ谷町字岩間ニ於テ二箇所同町字神戸ニ於テ一箇所計三箇所ニ對シ交通遮斷ヲ執行セリ  
 又明治四十二年ニ至リテハ「ベスト」鼠ノ發生ハ一層猛烈ヲ加ヘ一月ハ三頭二月ハ八頭三月ハ十頭四月ハ二十  
 八頭五月ハ四十頭ノ多數ヲ出シ患者ハ四月下旬南太田町字富士見耕地ニ發生シタルヲ始メトシテ同年七月ニ至  
 ル迄ニ患者ハ二十八名ノ多數ニ上リ之ガ爲メ交通遮斷ヲ執行シタリシ箇所ハ二十四箇所ニ達シ隨テ消毒的除鼠  
 清潔法執行ノ事務頗ル繁劇ヲ加ヘタルモノニシテ兩年ニ於ケル該成績詳細ハ之ヲ別表ニ詳記セルヲ以テ之ヲ畧  
 シ茲ニ明治四十二年上半年期間ニ於ケル特別消毒事業ノ狀況ヲ一言セントス抑モ當時ノ形勢ハ頗ル寒心スヘキ狀  
 況ヲ呈シ「ベスト」鼠ハ市内各地ニ頻發シ患者モ亦續テ發生シ此趨勢ヲ以テ推移セハ病毒益々猖獗ヲ極メ猛勢  
 底止スル處ヲ知ラサルモノ、如ク今ニ當リ全力ヲ傾注シテ撲滅ノ策ヲ講スルニ非サレハ全市之ガ爲ニ慘憺タル  
 ノ苦境ニ陥リ未曾有ノ大害ヲ被ラサレハ止マサルノ悲運ヲ呈セリ茲ニ於テ專心考慮熟々病毒ノ潜在スル所ヲ調  
 査推考スルニ「ベスト」鼠發見ノ場所判然セシモノ、内白米店或ハ空俵等ノ賣買ヲ業トスルモノ、家屋納屋倉  
 庫等毎ニ多數ヲ占メ此等ノ場所ト物件トハ病毒傳播ノ媒介ヲナセシコト多キヲ以テ該場所及物件ニ對シ嚴重ナ  
 ル消毒ヲ施行スルノ急務ナルヲ認メ先以テ同年五月五日緊急縣令第三十三號ヲ發シ最モ病毒濃厚地ト認メラル  
 ル常市南太田町ヨリ古俵襪等ヲ他地方ニ搬出スルヲ禁止シ又該地域内ニ存在スル該物件ニ對シテハ消毒ヲ行  
 ヒシモ未タ幾許ナラスシテ病毒ハ單ニ同町内ニ止ラスシテ既ニ他町内ニ蔓延シ殆ント全市ニ病毒潜在シ居ルノ  
 状態ヲ呈露シ來リタルヲ以テ同月二十五日該縣令ヲ改正シ其施行區域ヲ擴張シテ當市全部トナシ且ツ扇町常設  
 消毒所ノ一箇所ノミヲ以テ市内各地ヨリ運搬蒐集シタル該物件ヲ消毒スルノ不可能ナルヲ認メ更ラニ臨時消毒  
 所出張所七箇所ヲ設立シ其附近營業者ニ通告シテ其物件ヲ持參セシメテ消毒ヲ行ヒタリ其臨時消毒所ハ左ノ如  
 シ

市役所衛生課構内

- 福富町(後ニ末吉町ニ移轉ス)
- 翁町

- 南吉田町
- 平沼町
- 青木町
- 北方町

ニシテ其開始ハ六月二十五日ナリシニ翌七月中旬ニ至リテハ幸ニ患者ノ續出ナク「ベスト」鼠ノ發見ハ間斷ア  
 リシモ同月下旬ニ一頭ヲ出シ以後ハ杳トシテ發生ノ模樣ナク一時猖獗ヲ逞フシタリシ病勢忽焉トシテ終熄ノ觀  
 ヲ呈シ漸ク愁眉ヲ開キ該物件消毒ノ必要ヲ感セサルニ至レルヲ以テ中央倉庫消毒着手前市内ニ散逸シタリト見  
 做スヘキモノ、消毒完了ヲ期トシ翌八月十日迄繼續シテ之ヲ行ヒ該出張所ヲ閉鎖廢止セリ蓋シ該消毒所ニ於テ  
 消毒セシ物件中襪等ノ如キハ大半蒸氣消毒ヲ施行スル爲メ此等機關ノ設備アル常設ノ扇町市立消毒所ニ運搬  
 セシメ之ヲ行ヒ又空俵等ノ如キモノハ臨時設置ノ消毒所ニ於テ藥物消毒ヲ行ヒタリ今右八箇所ノ消毒所ニ於テ  
 執行セシ成績ハ左表ノ如シ

古俵	古藁	古藁	古吹	古繩	麻袋	古綿	古着	紙屑	襪	襪	古敷物
三、七五 <sup>枚</sup>	二、四七 <sup>枚</sup>	五八 <sup>枚</sup>	一、八五 <sup>枚</sup>	三、〇四 <sup>枚</sup>	一三、二四 <sup>枚</sup>	二六、五〇 <sup>枚</sup>	四、七五 <sup>枚</sup>	七八、六〇 <sup>枚</sup>	一、三六、五〇 <sup>枚</sup>	七四 <sup>枚</sup>	

右ハ物件ヲ持參セシメ消毒セシ成績ナリシモ此外該物件存在ノ營業者店頭或ハ納屋等ニ就キ消毒ヲ行ヒタル成  
 績左表ノ如シ

區別	古俵、藁、藁	古繩藁ノ類	紙屑襪ノ類	古着	古麻袋類	古綿綿屑類
伊勢佐木署	三六、四六〇 <sup>枚</sup>	二五、一九〇 <sup>枚</sup>	五、四三五 <sup>枚</sup>	—	二三、九五〇 <sup>枚</sup>	七六〇 <sup>枚</sup>
戸部署	一五、六四七	一、一五六	二、七五二	—	—	—
壽町署	一三、三五〇	三九二	二八、二七〇	二九〇	二三、七三五	—

第三章第八項 清潔法及消毒法



區別	古俵、筵、蓋		古繩藁ノ類	紙屑襪ノ類	古着	古麻袋類	古綿綿屑類
	ノ古類	ノ類					
山手本町署	三、二四八	一四九	二四八		一一〇		
加賀町署				一、三〇〇		二二五	
神奈川署	二、七六一	四一八					
合計	七、四六六	二七、三〇五	三八、〇〇五	二九〇	四八、一五三		七六〇

以上ハ消毒法消毒の清潔法ノ概要ニシテ之ニ對スル令達ノ如キ多少ノ改廢増減アリテ始終同一ニ活動シタルモノニアラス故ニ令達ノ改廢増減ニヨリ自然其執行程度ノ寬嚴ヲ異ニシ其成績モ多少ノ相違ヲ來セリ乃チ前年ニ嚴ナリシモ後年ニ寬トナリタルモノアリ例之ハ除鼠の清潔法執行ノ如キ從來ハ畜猫ノ家ト雖モ天井及羽目板ノ如キ場所ヲ取外シ鼠ノ搜索ヲ行ヒタル後塵芥ヲ除去セシメタリト雖モ明治四十二年九月警發第四七二號ヲ以テ除鼠の清潔法施行標準ヲ規定セシ以來飼猫ノ家ニ對シテハ天井及羽目板ノ剝離検査ヲ省畧シテ之ヲ寬恕シタルガ如キ又四十二年ニハ消毒前石油乳劑ヲ疊床等ニ撒布シ蚤ノ驅除ヲ計ラントセシモ之レハ目下實驗中ニ屬シ其詳細ノ報告ハ之ヲ後日ニ讓ラントス

而シテ本項ニ關スル時々ノ改廢等ハ令達編ニ詳カナリ

第九項 海岸五丁目焼拂顛末

明治三十五年十月五日俄然海岸五丁目二十番地ニ「ペスト」患者ヲ初發シ全市爲メニ驚愕恐怖ノ念ニ驅ラル、ニ至レリ此ニ於テ縣當局者ハ市當局者ト共ニ徹宵之レガ豫防消毒ニ努力セシモ連日陸續トシテ患者ヲ發生シ其危險測ルヘカラサルモノアルヲ示セリ抑モ該地區ニハ船舶關係者多ク此ニ住居シ第四圖ニ示スガ如ク細屋連續シテ一種ノ貧民窟ヲ造リシ場所アリ故ニ殆ト家屋ヲ崩壞スルノ程度ニ達スルニアラスンハ決シテ完全ナル消毒及

除鼠ノ目的ヲ達シ得ヘクモアラス其病毒ハ濃厚ニシテ根柢甚ダ深ク到底單純ナル藥物消毒ノミニテハ病毒ヲ絶滅スルノ不可能ナルヲ認メ斷然同地區ノ全部ヲ焼却スルニ決セシモ之カ實行ニ關シテ種々ナル困難ニ遭遇スルニ至レリ其主ナルモノハ家屋ノ買収及遮斷民ノ收容并ニ隔離解放後ニ於ケル無宿市民ノ措置ナリトス茲ニ於テ先ツ是等住民ヲ收容スヘキ場所ヲ求メシモ市ノ隔離所ハ狹隘ニシテ到底千餘名ヲ收容スルニ足ラサルヲ以テ新タニ之ヲ建築スル事ニ決定シ更ニ適當ナル建設地域ノ撰定ニ著手シ終ニ神奈川舊砲臺跡ヲ借用スルコトニ内定セリ同所ハ神奈川町ノ南方海中へ突出シ周圍水ヲ以テ圍マレ唯北方ノ一路ニ依リテ陸地ニ連續セルノミ殊ニ長濱消毒所及海岸五丁目二十番地トハ共ニ海面ニ依リテ交通シ得ルヲ以テ如斯多數民衆ノ輸送モ何等市民ニ危懼ノ念ヲ與ルナク安全ニ隔離ノ目的ヲ達シ得ヘキナリ仍テ同月十日之ガ借用ヲ臨時稅關工事部ニ照會シ更ニ其所管ナル大藏陸軍兩省ニ數回ノ交渉ヲ重ネ漸ヤク其承諾ヲ得タルヲ以テ同月十三日臨時縣參事會ヲ召集シ右砲臺隔離所新築ニ要スル費用金二萬千四百二十餘圓ノ豫算案ヲ提出シ直ニ可決セルヲ以テ即日起工セシメ晝夜兼行僅々三日間ニシテ七百七十餘坪ノ一大收容所ヲ新築シ同十五日全部完成セシヲ以テ諸般ノ準備ヲ整ヘ遮斷民ニハ移送心得書消毒心得書等ヲ配布シ十六日ヨリ順次長濱消毒所ニ送リテ消毒ヲ嚴行シタル後之レヲ隔離所ニ轉送收容シ十九日ヲ以テ全部終了セリ

又市役所ニ於テハ臨時市會ヲ開キ經常部臨時部ニ於テ衛生費五萬三千二百八十九圓ノ追加豫算案ヲ提出シ是レ又直ニ可決シタルヲ以テ第四圖ニ示スカ如ク東洋汽船會社正金銀行倉庫其他堅牢ナル家屋ニシテ病毒汚染ノ虞ナク又設合ヒ之レアルモ充分ナル消毒ヲ行ヒ得ヘキモノヲ除キ殘部千五百八坪ノ家屋ハ之ヲ取毀チテ焼拂ヲ實行セントシ之ガ交渉ニ著手セシモ家主ノ要求過大ニシテ且ツ地主モ亦容易ニ讓步セス爲メニ之レガ處置ニ關シ非常ナル困難ヲ生起シ世論亦囂々法ヲ曲解シ非難攻撃甚ダシク或ハ勅令違反ヲ新紙上ニ絶叫スルアリ苦情百出シテ到底容易ニ實行シ難キヲ見其狀況ヲ內務大臣ニ上申シテ何時ニテモ緊急勅令ヲ發セラル、準備ヲ講シ別ニ一面ニ於テハ警務長自ラ神奈川砲臺隔離中ノ各家主ヲ訪ヒ之ガ利害ヲ說述シテ懇篤訓諭ヲ加ヘタルニ隔離者漸ヤク之ニ應シタルモ同時ニ彼等ハ數多ノ希望ヲ提出シタタリ茲ニ於テ可及的彼等ノ利便ヲ計リ焼却後ニ於テハ

相當ノ加護ヲ與ル旨ヲ告ケ其他ノ條件ニシテ市當局者ノ肯定ニ俟ツヘキモノハ之ヲ市ニ傳達シテ專ラ之ガ實行ヲ迅速ナラシムルニ努メシモ依然トシテ各家主ノ要求過大ニシテ急速實行ノ見込ナク隔離期間ハ時々刻々迫リ來リテ之ガ遷延益々病毒ヲ散蔓セシムルノ虞アルヲ以テ前途大ニ憂慮ニ堪ヘサルモノアリ寧ろ緊急勅令ニ據リテ之ヲ斷行スルノ他策ナキノ觀ヲ呈スルニ至レリ然リ而シテ命令發布ノ準備既ニ全ク成ルト雖事頗ル重大ナル問題ニ屬スルカ故ニ未タ遽カニ之ヲ遂行セス尙ホ交渉ヲ繼續シテ他迄説諭ニ依リ目的ヲ達センコトヲ期シ更ニ市參事會及商業會議所役員ヲ當廳ニ召集シ急速實行ノ運ヒニ至ラシメシコトヲ計リ一面是等不幸ノ住民ヲ慰撫センガ爲メ廣ク義捐金ノ募集ニ著手シ相當救恤ノ方法ヲ講シタリ超テ二十七日ニ至リ家主總代ハ市當局ト會見シ家屋買收評定價格二萬二千餘圓ニ對シ四萬二千圓ヲ要求セシモ後互ニ相讓歩シ終ニ評定價格ニ對シ五割ヲ增加スルコト、シ茲ニ漸ヤク之ガ決定ヲ見ルニ至リタルヲ以テ同月三十日ヲ期シ之ガ燒却ニ著手シタリ而シテ燒却ハ晝間ノミ之レヲ執行シ建築物ハ悉ク破毀シタル後之ニ點火スル事トシ同地區ノ周圍各方面ニハ警察官并ニ市内各消防隊ヲ配置シ以テ萬一ノ飛火ヲ警戒セシメ又遮斷地ノ周圍ニハ亞鉛板塀ヲ繞ラシ護岸石垣ノ罅隙ハ悉ク「セメント、モルタル」ヲ以テ閉塞シ鼠族ノ逃竄ヲ防キ十一月九日ニ至リテ豫定家屋全部ノ燒却ヲ終了シタリ而シテ燒却セサリシ建物ニ對シテハ殆ト浸潤スルノ程度ニ於テ遺漏ナキ藥物消毒ヲ施シ又此等消毒ニ從事シタル人夫ニハ嚴重ナル消毒ヲ施シタル後之ヲ收容所ニ隔離シ以テ市民トノ接觸ヲ避ケタリ今ニシテ之レヲ顧ミレハ其措置ノ稍々嚴ニ過キタル嫌ナキニアラサルモ此斷乎タル處置ハ當局者ノ「ペスト」防疫ニ對スル決心ヲ内外ニ表明シ居留外人ノ如キ頗ル満足ノ意ヲ表シ外字新聞亦大ニ之ヲ稱讚シ以テ當港ノ安全ヲ確認スルニ至リ其結果延ヒテ好影響ヲ貿易上ニ及ホシ爲メニ何等通商上ノ衰退ヲ招クコトナク當時本市カ安全ナル貿易港タルノ信念ヲ確保シ得タルノ効果豈ニ偉大ナラストセンヤ

附 遮斷内糞尿始末

今ニシテ當時ヲ追想スレハ寧ろ滑稽ノ感ナキニアラサレトモ明治三十五年十月海岸五丁目「ペスト」患者ヲ發生スルヤ當時市民ノ「ペスト」ニ對スル志趣甚タ低クシテ一般ニ恐懼シ危懼ノ念措ク能ハス内外人ノ視線等シク同地ニ集マリテ其措置ヲ凝視セリ殊ニ遮斷内ヨリ市内へ搬出スルモノニ就テハ頗ル注意ヲ拂ヒタリ而シテ遮斷内百八十餘戸及神奈川砲臺千餘名ノ收容者ノ糞尿ハ消毒及細菌検査ヲ經タル後ト雖モ誰レアツテ之レヲ引受クルモノナク之レガ處分ニ窮シ種々協議ノ上終ニ久良岐郡官有地ナル屍馬捨場へ埋沒セントシ既ニ坑穴ヲ穿チシモ關係村長ヨリ異議ヲ申立來タリシヲ以テ之レヲ中止シ更ニ凝議ノ上相模國城ケ島ト安房國洲ノ崎トヲ連結シタル一直線ヨリ三海涅沖ニシテ陸地ヲ距ルコト六海涅ナル海面へ投棄スルコト、シ此等糞尿船ヲ汽船ニテ曳キ行キテ之ヲ實行セリ此糞尿取扱及溜置船舶ノ借入(十八日間)二百二十餘圓曳船二百四十餘圓ヲ費消シタリ

是レ實ニ笑フニ似タリト雖モ又以テ當時縣民ガ如何ニ「ペスト」ヲ恐怖シタルコト及斯ノ如キ細末ニ至ルマテ如何ニ當局者ノ苦慮セシカヲ察スルニ足ンカ

第十項 鼠族驅除

「ペスト」病豫防上鼠族驅除ノ最モ急務タルハ論ヲ俟タズ本縣ニ於テモ明治三十五年十月七日橫濱市及其接續地タル子安村ニ本病發生以來防疫上必要ナル他ノ處置ト共ニ直チニ之ニ着手シ以テ連綿今日ニ及ヘリ今其事蹟ヲ記スニ先チ之ガ沿革ノ梗概ヲ摘録スレハ左ノ如シ

明治三十五年十月八日縣令其他ヲ以テ(令達編參照)斃鼠發見者ハ直チニ當該官公吏若クハ衛生組合長ニ届出ツヘキ事並ニ其鼠ハ直チニ警察部ニ送附スヘキ事鼠族ノ驅除ヲナスヘキ事市長ニ鼠族驅除ヲ行フヘキ事桶樹郡長ニ部内子安村ニ鼠族驅除ヲ行フヘキ事警察署長同分署長ニ鼠族驅除ノ督勵並ニ斃鼠發見數及ヒ家鼠捕獲ノ員數ハ五日以内ニ報告スヘキ事鼠族驅除ノ爲メ注意區域ハ殺鼠劑及捕鼠器ヲ配置スヘキ件ヲ達シ同月九日示令第八十九號ヲ以テ「ペスト」檢疫事務分擔規程ヲ定メ鼠族驅除係ヲ置ク同月同日秘書衛第三百十號ヲ以テ遮斷並ニ注意區域ノ鼠族驅除ヲナスヘキ旨達シ同月同日檢第四號ヲ以テ橫濱市内及ヒ桶樹郡一部ニ「ペスト」病豫防施設ニ關スル決定事項ヲ詳記シ署長分署長ニ送附シタリ其内ニ天井及ヒ椽下等ノ斃鼠ヲ探シ並ニ殺鼠劑捕鼠器配

置ノ事アリ同月十日警衛第三百十七號ヲ以テ警部長ハ殺鼠劑取扱ニ就テ過失ナキ様取扱方並ニ解毒劑使用方法ヲ市内各署長ニ訓示シ同月十六日縣訓令第四十四號ヲ以テ市役所町村役場ニ鼠ノ捕殺並ニ斃鼠ノ發見云々ノ件訓令シ十一月五日檢第二百十一號ヲ以テ斃鼠ノ届出ヲ受ケタルモノニハ住所氏名ノ木札ヲ附スヘキ事ヲ達セリ明治三十六年一月十六日示令第四號ヲ以テ消毒の清潔法施行ニ付キ其細目ヲ各署長ニ訓示シ内ニ鼠族並ニ斃鼠ノ事ニ付訓示セシ所アリ同日檢發第二號ヲ以テ横濱稅關長ハ鼠族驅除並ニ斃鼠搜索ノ件ヲ照會シ一月二十二日示令第十二號ヲ以テ内務省衛生局長ノ通牒ニ係ル「ペスト」豫防方法ノ施行即チ鼠族驅除並ニ消毒の清潔方法等ニ關スル件ヲ關係官公吏ニ通達シ同六月三日示令第六十四號ヲ以テ殺鼠劑取扱規程及特別消毒の清潔方法鼠族ノ搜索其他ノ件ヲ制定シ六月廿六日縣令第四十五號ヲ以テ斃鼠ヲ發見シ又ハ生鼠ヲ捕獲シメルモノハ十二時以内ニ當該官公吏若シクハ衛生組合長ニ届出ツヘク若シ犯シタルモノハ拘留又ハ科料ニ處スヘキ旨ヲ達シ同月二十六日消毒の清潔法施行手續ヲ定メ斃鼠ノ搜索、生鼠ノ捕獲其他殺鼠劑配置ノ件ヲ定メ六月二十七日示令第七十六號ヲ以テ鼠ノ嗜好スヘキ物品ヲ多量ニ取扱ヒ或ハ貯フ場所ニ消毒の清潔法ヲ施行スルコトヲ達シ六月三日檢發第百十八號ヲ以テ徒弟十人以上ヲ有スル各工場ニ對シ驅鼠方法ヲナスヘキ旨達シ十月二十日檢發第二百八十二號ヲ以テ驅鼠方并ニ捕斃鼠買上ニ關スル注意方ヲ通牒シ同五日檢發第三百二十六號ヲ以テ檢疫事務分擔規程ヲ改正シ驅鼠係ニハ從來ノ職務ノ他ニ殺鼠劑ノ調製ニ關スル事務ヲ增加ス十一月十一日勅令第七十八號ニ依リ臨時防疫職員ヲ置カレシヲ以テ該員中ニ驅鼠係、調劑係ヲ設置シタリ十一月二十五日縣令第七十號ヲ以テ傳染病豫防法ニ依リ横濱市ニ驅鼠の清潔法ノ施行ヲ命シ十一月二十二日檢發第四百十七號ヲ以テ殺鼠劑調製配置心得ヲ定メ示令第百十三號ヲ以テ六月示令第六十四號殺鼠劑取扱規程ヲ改正セリ

三十六年十二月八日告諭第二號ヲ以テ客年十月當市海岸通五丁目ニ「ペスト」患者發生以來本年ニ入り既ニ五十餘名ノ患者ヲ發生シ有菌鼠ハ各方面ニ涉リ發見セラル、ノ狀況ナルヲ以テ何時該病毒ノ侵害ヲ蒙ルヤモ測リ知ルヘカラス仍テ冬季煤掃ヲ機トシ縣令第七十號ニ依リ除鼠の清潔法ヲ施行シ各自攝生ヲ重ンシ一層警戒スヘキ旨ヲ諭達シ三十七年一月二十六日示令第十二號ヲ以テ鼠族多數棲息セリト認ムル業體者及外國航行船舶ニ關係

アル家屋倉庫并細民部落ニ對スル清潔法施行方法ヲ定メ專ラ斃鼠ノ搜索生鼠捕獲ヲ督勵ス三十八年一月十一日警衛發第三號ヲ以テ衛生課長ヨリ各警察署長ハ除鼠の清潔法施行方法ヲ通牒ス同年六月三日示令第三十一號ヲ以テ東京市深川區ニ於テ「ペスト」蔓延ノ兆アルヲ以テ一層除鼠ヲ獎勵シ其他豫防ノ方法ヲ講シ防疫上遺憾ナキヲ期スヘキ旨ヲ令達ス同年七月十日四衛發第二百五十三號ヲ以テ市内全部ニ對シテ除鼠の清潔法施行方ヲ市長ハ照會ス同年七月十七日四衛發第二百五十三號ヲ以テ除鼠の清潔法施行日割并市長ト協議方衛生課長ヨリ各警察署長ハ通牒ス同年十一月二十四日(號外)警察部長ヨリ市長ハ對シ大阪、神戸、兩市ニ於テ「ペスト」病流行ニ付市内一般ハ普ク殺鼠劑ヲ配布シ除鼠ノ獎勵ニ努ムヘキ旨ヲ照會シ同日衛生課長ヨリ殺鼠劑配置ノ件ニ關シ各警察署長ハ通牒セリ三十八年十一月二十八日告諭第六號ヲ以テ大阪、神戸ニ於テ「ペスト」病猖獗ニシテ傳播ノ勢アリ該地方ハ本縣トハ海陸ノ交通頻繁ニシテ商業上ノ關係ハ密接比隣ノ如ク諸病毒侵襲ノ機會頗ル多キヲ以テ防疫事業ハ箇人衛生思想ト相俟テ各自ノ攝生ヲ重ンシ特ニ鼠族ノ驅除ニ努メ諸病毒侵入ノ罅隙ナカラシムル様注意方ヲ諭達シ同年十二月六日四衛發第三百八十八號ヲ以テ衛生課長ヨリ水上警察署長ニ對シ横濱港内及市内各河川ニ碇泊又ハ航行スル五大力船若シクハ達摩船等ニハ常ニ多數ノ鼠族棲息スル趣ナルヲ以テ船舶所有主ヲ諭シテ鼠族ノ驅除ニ努ムル様督勵方ヲ照會シ同年十二月十日訓令第三十號ヲ以テ阪神地方ニ於ケル「ペスト」病流行ハ益々蔓延ノ虞アルニ付同地方トハ交通頻繁ニシテ何時病毒ノ侵襲ヲ被ルヤモ測リ難キニ依リ此ノ際豫防法ヲ嚴行シ鼠族ノ驅除ヲ獎勵シ貨物陸揚場停車場其他ノ貨物集散場穀類棉花等ノ取扱店及各倉庫ニ對シ除鼠の清潔法ヲ施行セシムル件ヲ訓達シタリ

訓令第三十號ニ基キ三十八年十二月十三日四衛發第三百九十三號ヲ以テ第四部長ヨリ各郡市長ニ對シ貨物ヲ積入レタル倉庫又ハ家屋ニハ五日間以上殺鼠劑又ハ捕鼠器ヲ以テ除鼠ヲ勵行セシムル様衛生組長ヲシテ組合内ニ戒告セシムル件ヲ通牒セリ三十九年七月十日四衛發第二百四十四號第四部長ヨリ横濱市長ニ對シ神、阪、兩市及山口、廣島兩縣下ニ於ケル「ペスト」病ハ有毒地域擴大トナリ當市ハ是等ノ地方ト交通頻繁ニシテ何時該病ノ侵襲ヲ受クルヤモ難測殊ニ時季恰モ傳染病發生ノ候ニ際シ憂慮ニ堪ヘス因テ市内全般ニ對シ除鼠の清潔法施行ヲ



命シ其方法ハ從前ノ標準ニ依リ施行スヘキ旨ヲ通牒ス同年十一月二十九日縣令第六十六號ヲ以テ市内全市ニ除鼠の清潔法ヲ命シ同年十二月(號外)ヲ以テ第四部長ヨリ横濱市長ヘ對シ關西地方ノ「ペスト」猖獗ヲ極メ本縣ニ於テモ有菌鼠ヲ發見スルニ至リ一層警戒ヲ要スルニ付業體者ノ家屋倉庫ノ清潔法執行ハ吏員監督ノ下ニ亞鉛板ヲ圍繞シ鼠族ノ逃逸ヲ防ク等嚴重施行アリタキ旨ヲ通牒シ四十年六月八日縣令第六十三號ヲ發シ市外ヨリ鼠族ヲ輸入シ又ハ飼養繁殖ヲ圖ルヲ禁シ示令第四七號ヲ以テ其ノ取締方ヲ達セリ同年六月二十日縣令第六十八號ヲ以テ倉庫取締規則第八條中ヘ倉庫ノ戸前毎ニ捕鼠器ヲ設備シ所轄警察署ノ指示ニ從ヒ除鼠方法ヲ施行スヘシト追加シ同日示令第五十一號ヲ以テ倉庫取締規則一部改正ニ付除鼠方法執行ニ關スル取扱ヲ令達ス同年六月二十一日縣令第六十九號ヲ以テ傳染病豫防法第十九條ニ依リ横濱全市ニ除鼠の清潔法施行ヲ命シ同年六月二十令第五十四號ヲ以テ一般除鼠の清潔法ヲ定メ三十六年示令第七十五號ハ廢止ス

同年六月二十四日四衛發第二百六十七號ヲ以テ衛生課長ヨリ各警察署長ニ對シ除鼠の清潔法施行日取業體者ニ對スル執行標準等市長ト協議方ニ關シテ通牒シ同日第四部長ヨリ市長ニ對シ除鼠の清潔法施行上ニ就テハ所轄警察署長ト協議ノ上嚴重執行方ヲ通牒シ同年七月九日訓第三百二十七號ヲ以テ桶樹郡役所ニ對シ保土ヶ谷町ニ「ペスト」患者續發シ流行ノ兆アルニ就テハ鼠族ノ驅除ヲ勵行シ獎勵ノ爲メ相當代價ヲ以テ買上ケシメ且ツ買收ノ鼠ハ木札ヲ付シ其出所ヲ明記スルコト保土ヶ谷全町ニ對シテ除鼠の清潔法ヲ施行セシムルコト等ヲ訓達シタリ

四十二年三月九日示令第十四號同第十五號ヲ以テ各警察署長分署長ニ對シ清潔法及消毒法執行ニ關シテハ所轄郡市長ト協議シ施行標準ニヨリ除鼠ニ努メ嚴重執行方ヲ令達シ同日警衛第三百十號ヲ以テ衛生課長ヨリ各警察署長分署長ニ對シ有菌鼠頻々發見セラレ、ニ就テハ病毒萌芽ノ季節ニ先チ之レガ撲滅ヲ企圖シ令達ノ旨趣ヲ貫徹スル様特ニ配意アリタキ旨ヲ通牒シ同年四月二十八日警衛發第二百十五號ヲ以テ衛生課長ヨリ各警察署長ニ對シ南太田町ニ最終患者ヲ出シタル後新患者ハ發見セサルモ今尙有菌鼠ノ發生頻々トシテ憂懼ニ堪ヘサルニ付市

役所ト協議シ各衛生組合ヘ鼠族驅除ヲ勸誘シ防疫ノ目的ヲ達スルコトニ努力アリタキ旨ヲ依命通牒シ四十二年五月八日告諭第一號ヲ以テ「ペスト」豫防上鼠族驅除ノ極メテ緊要ナル將來益々勵行スヘキコトニ屬スト雖モ畜猫ノ飼養ハ方法簡易ニシテ實効著シキモノアリ横濱市ノ如キ有病地ニ於テハ平時ヨリ猫種ヲ撰擇シ遍ク畜猫ヲ飼養シ諸他ノ豫防法ト相俟テ該病豫防ノ効ヲ收ムルコトニ注意スヘキコトヲ諭告シタリ四十二年六月二十五日警衛發第三百三十九號ヲ以テ警察部長ヨリ桶樹、久良岐、兩郡長及神奈川署長、日下分署長ニ對シ横濱市ニ於テ本年ニ至リ有菌鼠ハ既ニ百十餘頭ニ達シ「ペスト」患者ハ十九名ノ多キヲ見ルニ至リ益々病勢ヲ逞フセントスル實況ニシテ極力防遏ニ努メツ、アルモ鼠族驅除ハ豫防上最モ捷徑ト思考セラル、ヲ以テ其方法トシテハ鼠ヲ相當代價ヲ以テ買收セシムル様獎勵ノ上買收鼠ハ翌朝警察部ヘ送付方ヲ照會シ同年八月二十四日縣令第六十五號ヲ以テ横濱全市ニ除鼠の清潔法施行ヲ命シ同年九月三日警察部長ヨリ警衛發第四百七十二號ヲ以テ横濱市長及各警察署長ヘ除鼠の清潔法施行標準ヲ通牒ス同年九月十日縣令第六十九號ヲ以テ鼠族驅除ニ關スル規程ヲ發布シ同日示令第六十五號ヲ以テ鼠族驅除ニ關スル規程執行手續ヲ定メ鼠族驅除ニ關シ一定ノ方針ニ據ラシメタリ

敵ヲ斃サントスル者ハ先ツ敵ヲ知ラサル可ラス以下參考ノ爲メ初メニ内務省囑託波江元吉氏ノ東京市買收鼠ニ就テ調査セラレタル鼠ノ調査法種類及鑑別ヲ掲ケ次テ三十五六年本縣檢疫部除鼠部ニテ調査シタル鼠ニ關スル記事ヲ採録シ然ル後除鼠方法ニ及ハントス

(一) 鼠ノ種類、性質

(波江元吉氏鼠族調査第一報告)

調査ノ方法

調査ニ要スル標本ヲ保存スルニ普通ニ様アリ一ノ方法ハ捕鼠ヲ直ニ酒精若クハ「ホルマリン」液ヲ以テ貯藏シ一ハ之ヲ剝皮シテ保存ス孰レモ多少ノ得失アリ液體ニ浸漬シタル標本ハ隨時ニ内容ヲ剖檢スルコトヲ得ルノ便アレトモ多數ノ標本ヲ浸漬シテ貯藏スルトキハ往々腐敗シ易ク且浸液中ニ於テハ毛色ヲ識別シ難シ又剝皮標本